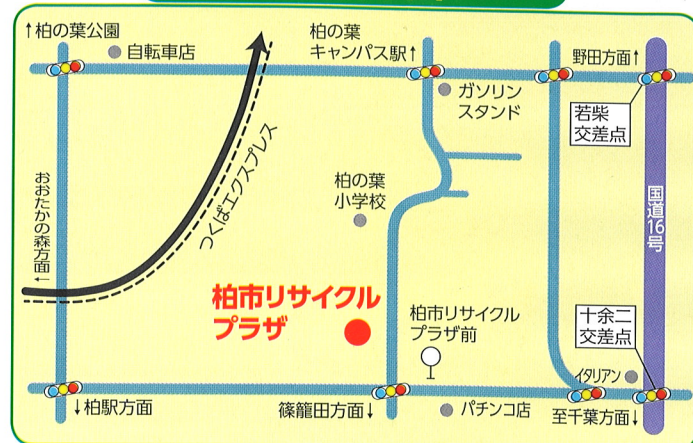


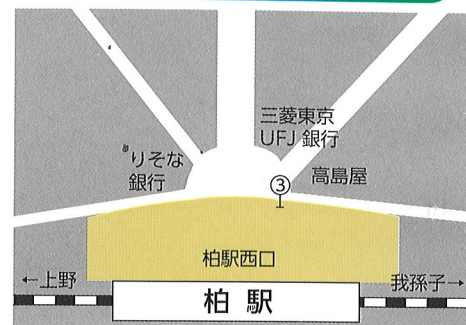
千葉県全図



ご案内図

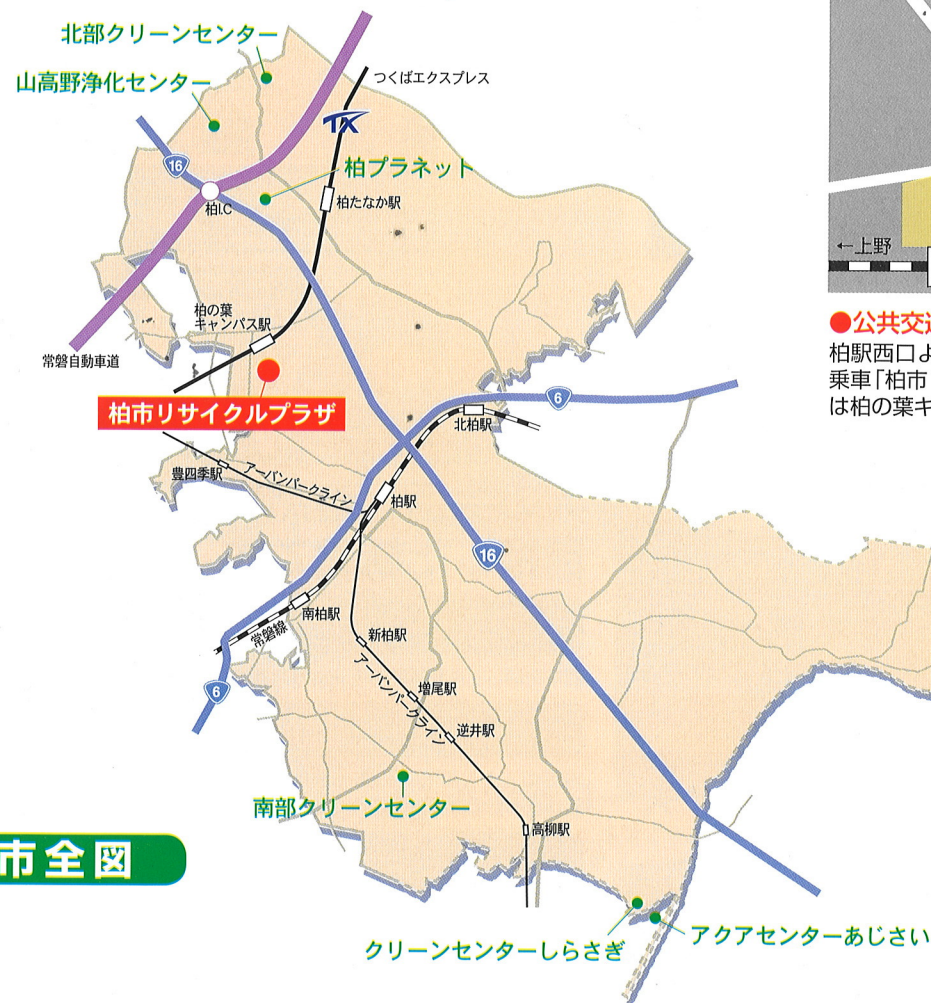


柏駅バス乗り場案内図



●公共交通機関でのアクセス
柏駅西口より東武バス3番乗場・02番の「市内循環」乗車「柏市リサイクルプラザ前」下車徒歩5分、もしくは柏の葉キャンパス駅東口から徒歩20分

柏市全図



柏市リサイクルプラザ

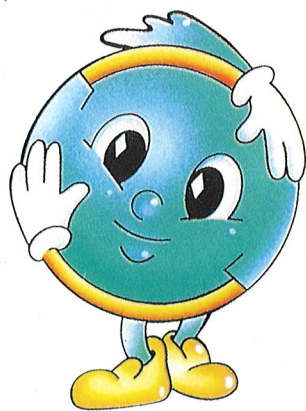
〒277-0872 千葉県柏市十余二348番地202 TEL(04)7199-5081
リボン館 TEL(04)7199-5082 FAX(04)7199-5083

柏市

(環境部廃棄物政策課)

〒277-8505 千葉県柏市柏五丁目10番1号
TEL(04)7167-1140 FAX(04)7163-3728

柏市公式ホームページ
<http://www.city.kashiwa.chiba.jp/>



柏市ごみ減量
マスコットキャラクター
クリンちゃん

KASHIWA CITY RECYCLE PLAZA

柏市リサイクルプラザ



柏市

》循環未来都市かしわ《 をめざして

ごあいさつ

私たちの日常生活で必ず出される「ごみ」。ごみを減らし、限りある資源を大切にすることは、私たち一人ひとりが取り組むべき課題です。

「柏市リサイクルプラザ」は、ごみ減量・資源化を進めるための施設です。この施設は、二つの機能を持っています。一つめは家庭から出された資源品を収集し、選別・圧縮など再生工場へ引き渡すための処理を行うリサイクル工場の機能。二つめはごみの減量、リサイクルについて学習・情報収集をする場としての機能です。

今後も「柏市リサイクルプラザ」に備わった2つの機能を活かし、市民の皆さんの3Rへの意欲と熱意を後押しすることで、柏市のまちと良好な環境を、次世代へ引き継いでいきます。

ごみ減量・資源化の主な歩み

昭和 57 年 1 月	資源品分別収集開始 (びん、缶、古紙、古布) 町会・自治会を単位とした資源品回収開始
平成 2 年 4 月	生ごみ処理容器等購入費補助制度設置
平成 3 年 2 月	資源品回収を月 1 回から月 2 回に拡大
平成 4 年 2 月 7 月	ごみ減量推進協議会発足 紙パック、ざつ紙を資源品に追加
平成 7 年 4 月	プラスチックごみ分別収集開始 (一部資源化)
平成 9 年 4 月	ペットボトルを資源品に追加
平成 11 年 1 月	ごみ再利用・資源化事業で自治大臣表彰
平成 12 年 4 月	プラスチック製容器包装の容リ法による 処理開始
平成 13 年 3 月	プラスチックごみ処理施設 「柏プラネット」オープン
平成 14 年 4 月	「柏市リサイクルプラザ」オープン
平成 17 年 4 月	指定ごみ袋制度導入
平成 26 年 11 月	小型家電リサイクル制度開始 (平成 27 年 3 月までは国の実証事業)
平成 27 年 4 月	3R 推進事業所及び 3R 推進店推奨制度開始

配置図

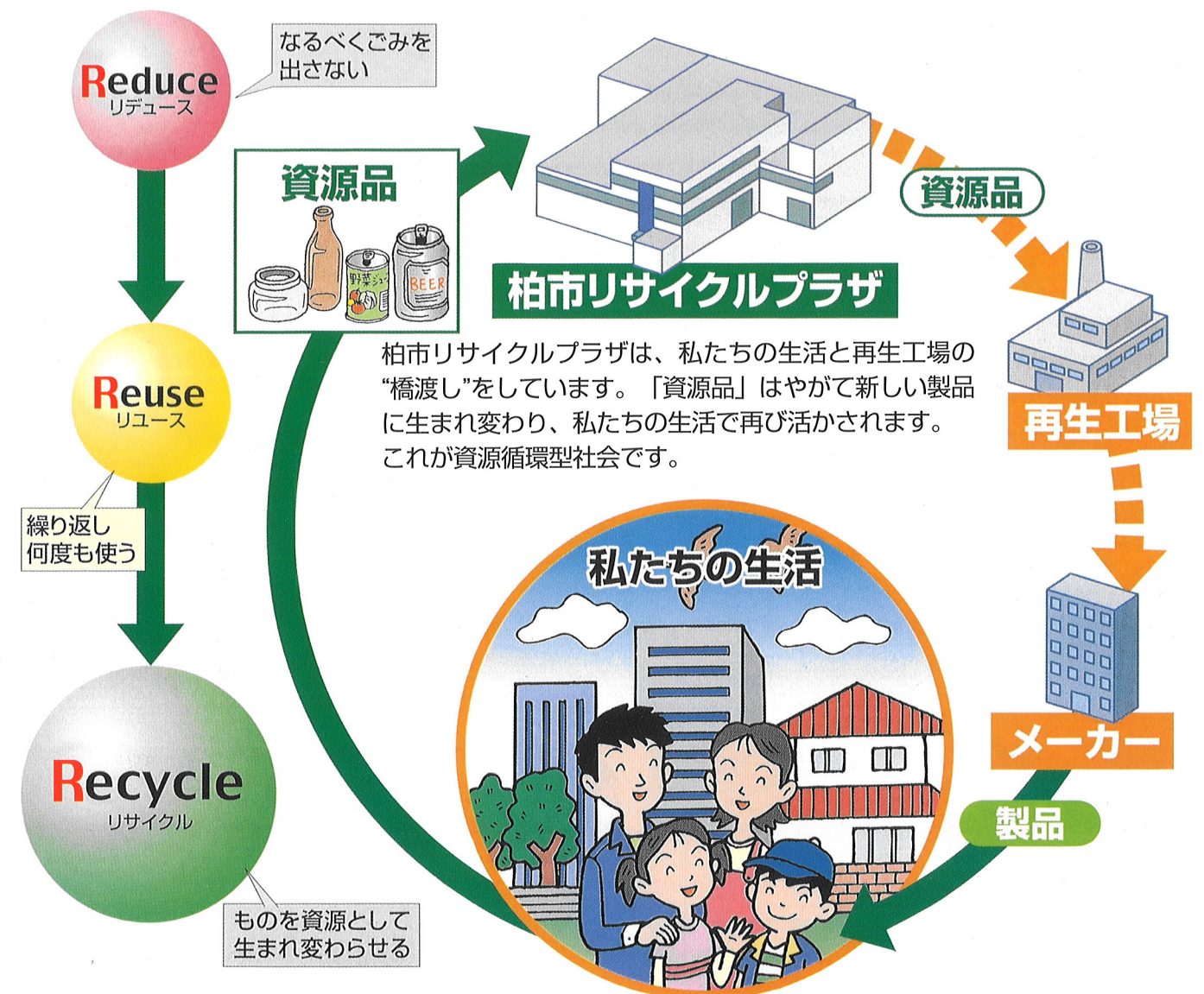


周辺環境への配慮

- 施設建物は鉄骨構造で外壁にALC板を採用し、遮音性に優れた構造になっています。搬入車両の進入スペースの内側に吸音パネルを装備するなどの防音対策により、周囲に騒音がもれないように配慮しています。
- 屋上庭園や壁面緑化により、冷暖房の効率をよくしています。美しい自然との共生を目指し、地域に調和した施設としています。
- 施設内で発生する粉じんや臭気は各所で吸引し、サイクロン、バグフィルタ、脱臭装置で除去した後、清浄な空気として排出しています。

リサイクルプラザの目的

ごみ減量のキーワードは「3つのR」



施設概要

- 施設名称 / 柏市リサイクルプラザ
- 所在地 / 千葉県柏市十倉二348番地202
- 建設費 / 33億6,630万円
- 用地費 / 約15億1,800万円
- 着工 / 平成12年9月22日
- 竣工 / 平成14年3月25日
- 処理能力 / 176t/日 (5h/日)
- 敷地面積 / 約11,800㎡
- 建築面積 / 約4,300㎡
- 延床面積 / 約7,700㎡
- 設計・施工 / ハブ日立・若柴・長谷川
特定建設工事共同企業体
- 施工監理 / 日本工営株式会社
- リサイクル工場
 - ①古紙(新聞、雑誌、ダンボール)
搬入→紐取→手選別→圧縮→保管→搬出
 - ②空きびん
搬入→手選別(びん)→破碎(カレット)→保管(生きびん、カレット)→搬出
 - ③金属類
搬入→粗選別→磁選別→アルミ選別→手選別→圧縮→保管(スチール、アルミ)→搬出
 - ④ペットボトル
搬入→手選別→圧縮→保管→搬出
 - ⑤古布
搬入→保管→搬出
- リボン館 / リサイクル家具等展示コーナー・リサイクル工房・研修室・ごみライブラリー
- 特長 / 屋上庭園・壁面緑化・雨水利用

資源に生まれかわる工場

技術と多くの人の手を介して
資源品は新たな製品に生まれ変わります

においやほこりは、施設内で完全シャットアウト!

施設内で発生する粉じんは各所で吸引し、サイクロンで大きな粉じんを除去し、バグフィルタのろ過用の布によって小さな粉じんを除去した後、施設外へ排出されます。また施設内で発生する臭気は各所で吸引し、活性炭による脱臭設備で臭気を除きます。



●サイクロン・バグフィルタ

工場内の騒音は外にももらしません!

搬入車両入口・出口には二重シャッターを設置し、臭気や騒音を外に出さないしくみにしています。



●二重シャッター

柏市リサイクルプラザの仕事

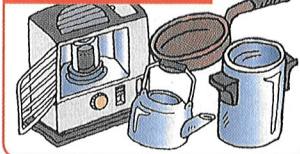
びん類



ペットボトル



その他金属類



缶類



スチール缶

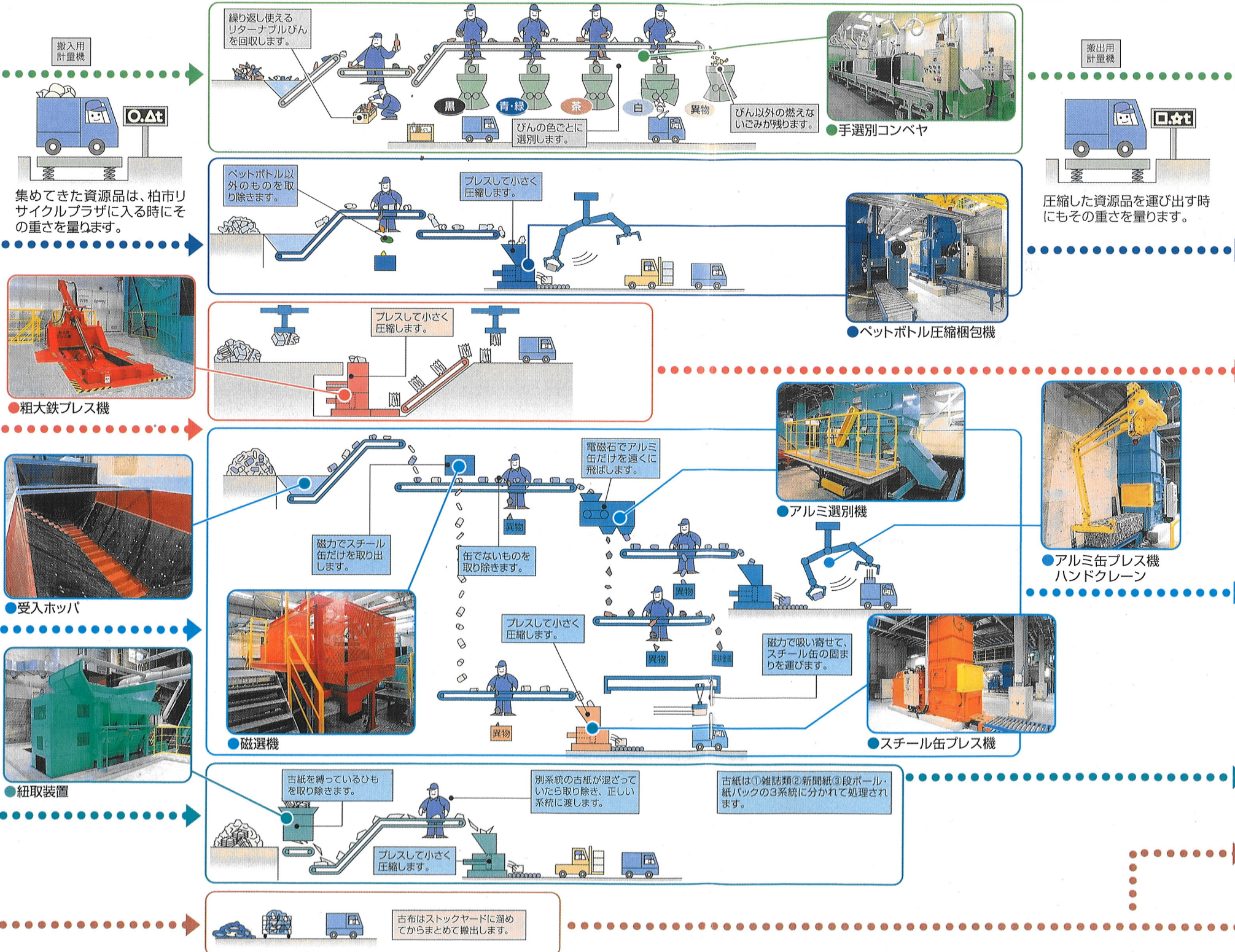


アルミ缶

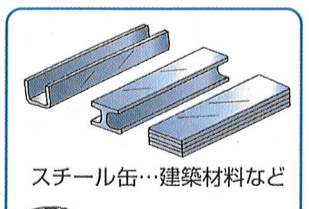
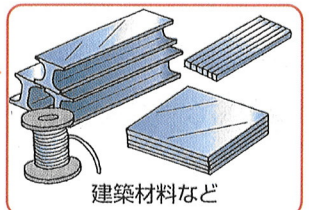
古紙類



古布類



再生製品



再生工場…リサイクルプラザで処理した資源品から再生原料を作ります。

メーカー…再生原料から新しい製品を作ります。

ようこそ!リボン館へ!

知って学んで体験する
ここで3Rのいろいろなことがわかります

リボン館の紹介

柏市リサイクルプラザは、資源品を処理する「リサイクル工場」の他に、3Rについて学び、体験できる場所「リボン館」があります。
リボン館は、柏市リサイクルプラザリボン館運営委員会が市の委託を受け、施設の管理や各種3Rに関する啓発活動を行っています。
資源品は、「混ぜればごみ」ですが、「分ければ資源」として、もう一度新しい製品に生まれ変わることができます。リサイクルをすることで、この限りある地球の資源を守ることができるのです。
みんなで一緒に3Rについて勉強しましょう。



見学者コース
施設内を安全に見学できる通路を設けています。



研修室
リサイクル講座のほか、講演会や研修等に活用しています。



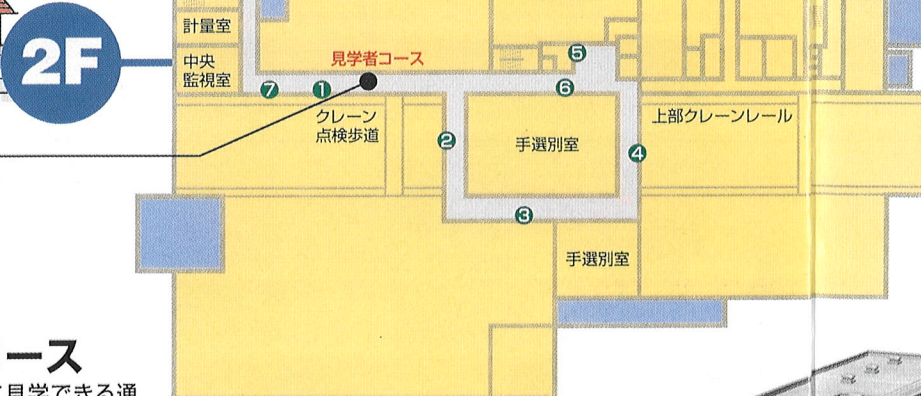
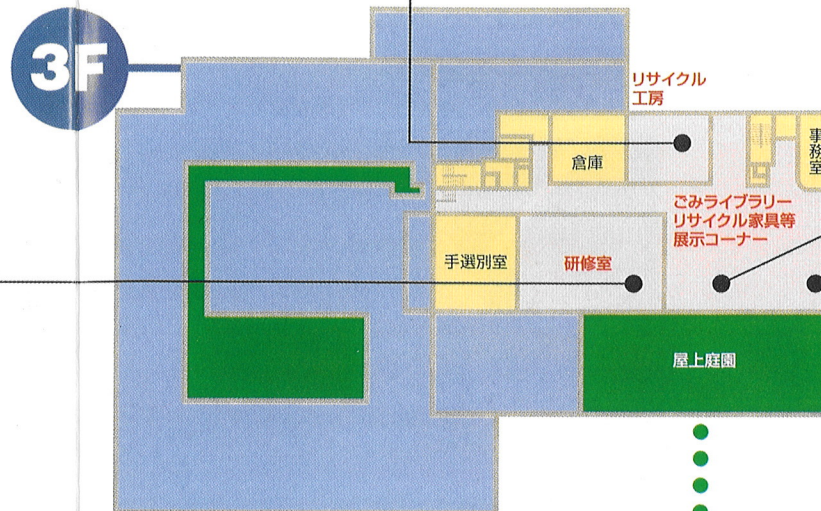
リサイクル工房
リボン館で展示、販売する家具の修理を行います。



リサイクル家具
リサイクル工房で修理された家具を展示・販売しています。



展示コーナー
ごみの減量、リサイクルに関する展示を行っています。



※①～⑦は、見学者説明パネルの位置です。



柏市リサイクルプラザの特長
人の生活と自然環境との調和を目指した施設です。

屋上庭園

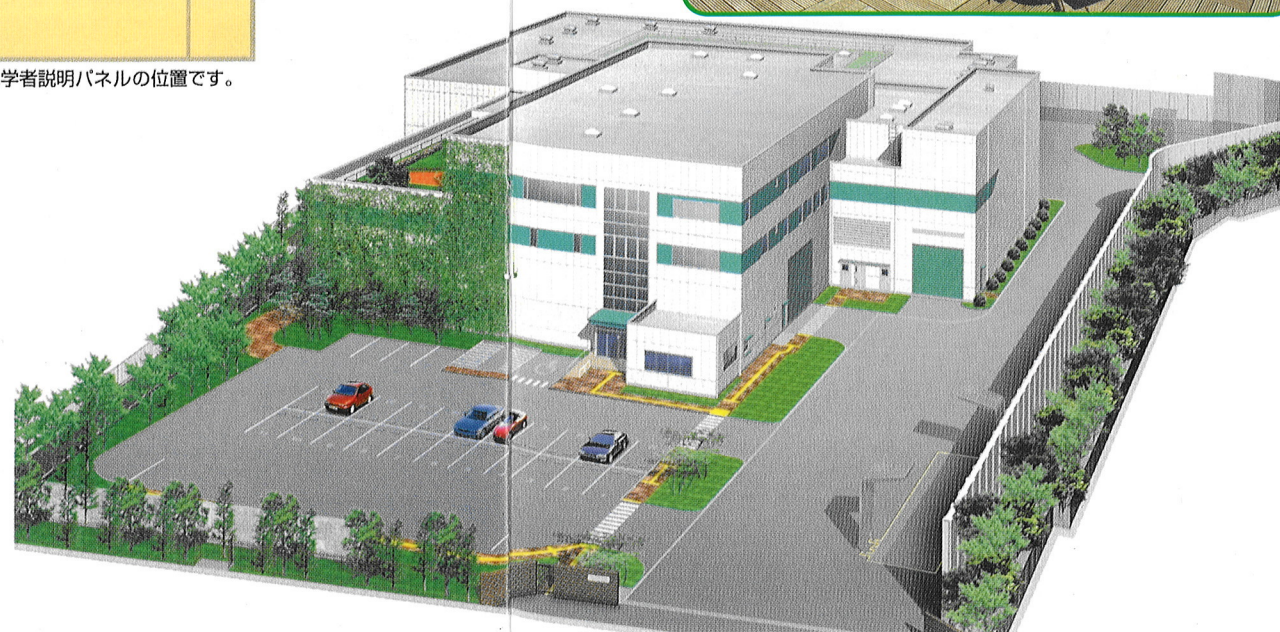
四季を通して花や植物など彩りのある自然が施設全体と調和しています。

壁面緑化

地域の人々に親しみのある緑が壁面に施され、視覚で自然との共生を感じ取ることができます。

雨水利用

屋根からの雨水は受入貯留場などへの散水として利用します。



リボン (RE-BORN) 館とは?

RE(再び)-BORN(生まれる)という意味を持ちます。
この愛称には、不要となったものをよみがえらせたいという願いと、リボンをつけたプレゼントを人に渡すような心で資源を循環させようという気持ちが込められています。
市民の方からの公募で決定しました。